



報徳@なう

発行人:田嶋 享

母子家庭のお母さんの声

「本人の了解を頂き、食品を提供させていただいた方の感想を掲載させて頂きます。私たちも、「フードバンク活動に一層がんばるぞ」という気持ちが湧いてきます。

「本日はありがとうございます。とても沢山頂いてしまい申し訳ありません。感謝しかないです。久しぶりになんだか人の温かさに触れ、涙が出そうになりました。離婚してからは、人との交流もなるべく避けるようになってしまいました。やはり人と関わることはいいですね。

離婚で失ったものは経済力だけでなく、気持ち的にも辛いものがありました。頂いた食べ物子ども達と大切に消費したいと思います。

冷凍ケーキなんて物があることを初めて知りました。食べるのが楽しみです。」

「このような活動はシングルママにとったら経済だけでなく気持ち的にも、とてもありがたいです。

勇気づけられます。

「こうやって応援して下さい

下さるみんながいるんだ」と、「ひとりじゃない」と感じました。本当に感謝しかありません。」



ひとり親家庭等を支援する報徳食品支援センターに新しい支援の枠組みが!!

ひとり親家庭を中心とした世帯への食支援を行う「WeSupport Family」の団体と、県西地域で母子家庭の会と連携して食支援を行っているフードバンクの私たち NPO 法人報徳食品支援センターとの連携ができました。

「WeSupport Family」とは??

2020年4月に、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に向けた食支援を行うため、「WeSupport」が設立されましたが、2021年11月をもってその支援活動を終了しました。

この医療従事者に向けた食支援「WeSupport Medical」の仕組みを活用し、ひとり親世帯を中心とした子どもがいる困窮家庭に向けた食支援「WeSupport Family」を2021年12月より開始しました。

そのメンバーには一般社団法人 RCF(地域課題解決等のソフト企業)、オイシックス・ラ・大地株式会社(有機野菜・無添加食品等の販売会社)、コネット株式会社(セイノーホールディングスグループの一員で、買い物代行・見守り等を行なう物流会社)です。

この WeSupport Family から毎月二五〇世帯分の食品支援を、当センターが委託を受ける形になりました。預かった食品を配る対象は、県西地域の小田原市母子寡婦福祉会など四つの母子家庭支援組織や、報徳食品支援センターが直接世話する母子家庭等の方々です。

もともと新型コロナウイルスの影響で、地域経済が縮小して、働く場所が狭められてきています。最近はおミクロン株の感染が子どもにも拡がり、そのため家からお母さんも出られないような新たな困難も増えています。

このような時に、継続的に支援をいただけるのとてもありがたいです。

さて、最初に「提供

いただいた食品は二段重ねの豪華なおせち料理です。

伊勢エビがまるごと一匹入っています。



買えば万単位のお金を出すことになるでしょう。今回の「WeSupport Family」と当センターとの連携は、神奈川県庁の福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課のご斡旋によるものです。神奈川県と「WeSupport Family」を構成されている企業に感謝申し上げます。

私も報徳食品支援センターの地道な活動が認知されてきたのかなと思う次第です。

今回の提携は、三月二十八日神奈川県からひとり親家庭を「食」でサポートする企業と活動団体とのマッチング事例として報道機関に発表されました。

編集後記

さて、今月も忙しく、筆を走らせるより、食料満載の車を走らせるほうが多かったです。来月こそ真面目にやります。 編集者